



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月8日

上場会社名 株式会社 Olympicグループ 上場取引所 東
 コード番号 8289 URL http://www.olympic-corp.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金澤 良樹
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長管理本部長 (氏名) 木住野 福寿 TEL 042-300-7200
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	79,703	3.1	421	54.6	251	28.5	39	—
27年2月期第3四半期	77,285	3.0	272	14.0	195	30.5	△138	—

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 229百万円 (—%) 27年2月期第3四半期 △19百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	1.72	—
27年2月期第3四半期	△6.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第3四半期	70,807	25,054	35.4	1,090.64
27年2月期	70,482	25,169	35.7	1,095.67

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 25,054百万円 27年2月期 25,169百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年2月期	—	0.00	—		
28年2月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,700	3.5	1,100	192.0	850	278.4	500	—	21.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期3Q	23,354,223株	27年2月期	23,354,223株
② 期末自己株式数	28年2月期3Q	382,365株	27年2月期	382,262株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期3Q	22,971,909株	27年2月期3Q	22,972,026株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定期性情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策及び金融政策を背景に、輸出産業を中心に企業業績の改善や雇用情勢の好転もあり、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、海外経済の下振れリスクや、円安による輸入資材等の価格の高止まりとそれに伴う物価の上昇懸念など、景気の先行きは不透明なままであり、消費者の節約志向は依然として根強く、小売業におきましては、デフレ状況から脱却できないまま厳しい状況が続いております。

こうした環境のなか、当社グループでは経済情勢を見極め、財務基盤の改善を図りながら収益構造の改善に努めており、㈱Olympicからサイクル、ペット、DIY・ガーデニング、靴の専門店事業を独立させ設立された4つの新会社が3月より営業を開始いたしました。

これにより、当社グループは、「フード」「ディスカウント」「専門店」の3つの業態を柱として、様々な店舗スタイルで臨機応変に事業展開を行うことで競争力を強化するとともに、一部店舗におきましては、外部テナントを導入することにより経営資源の効率化も図りながら、地域特性やお客様のニーズに合わせた既存店の改装も実施してまいりました。

㈱アバンセによる「スーパーマーケット カズン」を含むフード部門では、生鮮三品を中心に「より良い品をより安く」ご提供することで、お客様にご満足していただくことに努めるとともに、ワインの専門店「Olympic CELLAR」や自家焙煎コーヒーの「GRAIN COFFEE ROASTER」の拡充、和菓子の製造販売、さらには東戸塚店に続く平塚店でのファーストフードの拡大など、Olympicの特徴づくりにも注力してまいりました。

ディスカウント部門では、消耗品を中心に「同じものならどこよりも安く」お客様にご提供するというディスカウントのあり方を明確にし、徹底してまいりました。

専門店事業では分社化されたことに伴って、より独立性を高める体制のもと、それぞれの独自性をスピーディーに打ち出す経営展開を図っていくことでグループの成長エンジンとしての役割を担ってまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高に営業収入を合算した営業収益はフード部門の牽引により797億3百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。利益面におきましては、競合店の価格訴求に対抗するための売価政策を継続したことや、原材料、資材等の高騰による仕入価格の上昇もあり、売上総利益率は0.6ポイント低下いたしました。物流改革による収入増もあり、営業総利益は273億94百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。

経費につきましては、前年度の出店や店舗の改装及び増床等による不動産費の増加はありましたものの、販売促進費をはじめその他固定費の削減にも継続して取り組んだ結果、営業利益は4億21百万円（前年同四半期比54.6%増）、経常利益は2億51百万円（前年同四半期比28.5%増）となりました。また、投資有価証券評価損や減損損失を計上した結果、39百万円の四半期純利益（前年同四半期は1億38百万円の四半期純損失）となりました。

なお、当社グループは、小売事業の割合が高く、小売事業以外の事業に関しては重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億24百万円増加し、708億7百万円となりました。これは主に、商品の増加と有形固定資産並びに敷金及び保証金の減少によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億40百万円増加し、457億53百万円となりました。これは主に買掛金及び社債の増加と、短期借入金及び長期借入金の減少によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億15百万円減少し、250億54百万円となりました。この要因は、四半期純利益を計上した反面、配当金を支払ったことにより利益剰余金が減少したこと及びその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成27年10月6日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値とは大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,600	4,230
受取手形及び売掛金	581	718
商品	12,151	13,293
その他	2,850	2,814
貸倒引当金	△32	△75
流動資産合計	19,152	20,982
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,327	12,590
土地	13,540	13,541
その他(純額)	2,083	1,911
有形固定資産合計	28,952	28,043
無形固定資産	1,635	1,535
投資その他の資産		
敷金及び保証金	16,020	15,302
その他	4,682	4,856
投資その他の資産合計	20,702	20,159
固定資産合計	51,290	49,738
繰延資産	40	86
資産合計	70,482	70,807
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,593	11,591
短期借入金	17,667	16,274
未払法人税等	87	65
賞与引当金	236	439
その他	4,211	3,643
流動負債合計	31,797	32,013
固定負債		
社債	1,928	3,796
長期借入金	9,122	7,562
資産除去債務	355	360
その他	2,109	2,020
固定負債合計	13,515	13,739
負債合計	45,312	45,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,946	9,946
資本剰余金	9,829	9,829
利益剰余金	5,264	4,959
自己株式	△292	△292
株主資本合計	24,748	24,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	421	610
その他の包括利益累計額合計	421	610
純資産合計	25,169	25,054
負債純資産合計	70,482	70,807

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	72,916	74,963
売上原価	50,457	52,308
売上総利益	22,459	22,655
営業収入	4,368	4,739
営業総利益	26,828	27,394
販売費及び一般管理費	26,555	26,972
営業利益	272	421
営業外収益		
受取利息	41	37
受取配当金	13	16
債務受入益	43	45
補助金収入	123	—
その他	28	29
営業外収益合計	249	129
営業外費用		
支払利息	296	282
その他	29	17
営業外費用合計	326	299
経常利益	195	251
特別損失		
固定資産除却損	121	6
投資有価証券評価損	—	30
減損損失	—	106
特別損失合計	121	142
税金等調整前四半期純利益	74	108
法人税、住民税及び事業税	80	106
法人税等調整額	132	△37
法人税等合計	213	69
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△138	39
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△138	39

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△138	39
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	118	189
その他の包括利益合計	118	189
四半期包括利益	△19	229
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19	229

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「小売事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。